

# 三鷹・東台小学校

6月27日、小中一貫・コミュニティスクールの先進校三鷹市立東台小学校を視察しました。

三鷹市では、全市を7つのブロックに分け、小学校2校、中学校1校でひとつの学園を構成し、コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育が展開されていました。

～学びと育ちの連続性～

## 浦幌小中一貫CS便り

平成26年7月7日 (NO.24)



浦幌町教育委員会  
浦幌町教育研究所

■**三鷹市の小中一貫教育** 三鷹市の小中一貫教育の特徴は、義務教育9年間の教育を①現行の法制度の下で、②既存の小学校・中学校を存続させた形で、③コミュニティ・スクールを基盤として、④小中一貫カリキュラムに基づき、系統性と連続性を重視して、「人間力」と「社会力」を培うことである。

教員の兼務発令により、相互乗り入れ授業や合同自然教室、児童会と生徒会の合同会議等が行われ、中1ギャップの解消や学力の向上に大きな成果を上げている。

■**三鷹市のコミュニティ・スクール** 三鷹市では、全ての学校に「学校運営協議会」を設置するとともに、7つの学園にはコミュニティ・スクール委員会を設置し、市民による学校運営への参画、教育活動への支援等をはじめ、様々なCSとしての取組を通して、義務教育9年間の児童生徒の成長に責任を負っている。

■**鷹南学園CS委員会** 平成21年、東台小学校は中原小学校及び第五中学校の3校で小中一貫教育校「鷹南(たかみなみ)学園」を開園した。3校の学校運営協議会(鷹南学園コミュニティ・スクール委員会)は、同じ21名の委員で構成され、ほぼ毎月合同で開催している。任務として、基本方針の承認、学校運営に関する意見、任用に関する意見を規定している。

CS委員会には、サポート部会、広報部会、評価部会を設置し、CS委員はいずれかの部に所属している。CS委員会の副会長3名は、各部の部長を兼務している。

部会の構成は、次の通りである。

- ①**サポート部**⇒学校支援ボランティア人材リストの整備、ゲストティーチャーや学習ボランティアの活用、地域との連携など
- ②**広報部**⇒ホームページや学園便りなどによる情報提供
- ③**評価部**⇒鷹南学園評価、学校評価の実施、重点施策と環境づくり

